2024年度 日本水産工学会秋季シンポジウム「水産基盤の大規模災害と漁村復興の課題」（2024年11月29日開催）

|  |  |
| --- | --- |
| 主催 | 日本水産工学会 |
| 後援 | 水産庁，(公社)全国漁港漁場協会 |
| 日程 | 2024 年 11 月29 日（金） |
| 場所 | 東京海洋大学楽水会館（対面式，定員約120名，事前申し込み先着順） |
| 参加 | 参加費：無料申し込み方法は、　[詳細はこちら](https://www.jsfe.gr.jp/wp/7542.html%22%20%5Ct%20%22_blank)　をご覧ください。 |
| 概要 | 東日本大震災では，特に岩手，宮城，福島の３県の全ての漁港漁場漁村等の水産基盤が甚大な被害を受け，また今年1月に発生した能登半島地震でも，輪島周辺の海底が隆起するなど能登半島の漁港漁村で甚大な被害が生じている。能登半島地震からの復旧復興は始まったばかりであるが，これら東北3県や能登半島の被災地は何れも我が国水産業にとって非常に重要な役割を担う地域であり，生活再建への対応が急がれる中でも，一部岸壁等の供用開始ができるような段階的な水産基盤の復旧復興が進められるなどできるだけ効果的な復旧復興となるように産学官が連携して現場の様々な課題を解決しつつ，水産業の早期回復や漁村の復興に努めている。また，これらの経験や教訓は，人口減少社会における南海トラフ地震始め大規模災害が懸念される全国の自治体の関係者にも共有できるものも多く，今後の水産基盤の防災・減災対策にも生かしていくことも期待される。　本シンポジウムでは，「水産基盤の大規模災害と漁村復興の課題」と題して，今年発生した能登半島地震での水産関連施設始めとする漁港漁場漁村等水産基盤の被害の状況や復旧の現状と課題を中心に8名の講演者から報告していただくとともに，総合討論ではこれまでの水産基盤の復旧復興の課題や今後の地震・津波対策等の大規模災害に対して備えるべき防災・減災対策について意見交換を行う。 土木学会のCPD認定を取得予定です。プログラムなど詳細、申し込み方法は下記Webサイトをご覧ください。[詳細はこちら](https://www.jsfe.gr.jp/wp/7542.html) |
| 問い合わせ先 | コンビーナー代表　（株）不動テトラ 顧問 佐藤昭人（東京海洋大学客員教授）Email：akito.sato（at）fudotetra.co.jp（at）を@に変えて送信してください。 |